

＜永井荷風「断腸亭日乗」と「遺品」でたどる365日＞では、「断腸亭日乗」の原本を展示しておりますが、資料保存のため、約2～3週間ごとに展示替えをいたします。

「断腸亭日乗」原本の出品目録

展示期間	日記	本文(一部)	内容
7月20日～8月2日	1919年(大正8)正月元旦	曇りて寒き日なり。九時頃目覚めて床の内にて	荷風の正月の過ごし方
	1943年(昭和18)10月27日	晴れて好き日なり。ふと鷗外先生の墓を掃かむと思ひ立ちて	森鷗外の墓参りをした際に描いた禅林寺の外観
	1946年(昭和21)1月16日	晴、早朝荷物をトラックに積む、	市川に引っ越して来た最初の日記
	1959年(昭和34)4月29日	祭日。陰。	死の前日に書かれた日記
8月3日～8月16日	1941年(昭和16)7月16日	陰。数日来市中に野菜果実なく、豆腐もまた品切にて、	当時流行していた女性の髪型のスケッチ
	1945年(昭和20)8月15日	陰りて風涼し、宿屋の朝飯、鶏卵、玉葱味噌汁、	終戦の日の日記
	1946年(昭和21)1月19日	晴。寒気甚しからず。荷物を解き諸物を整理す。	戦後の物資不足を嘆く
	1946年(昭和21)5月9日	陰、風涼し、午後再び葛飾八幡の境内を歩む、	葛飾八幡宮を散策
	1947年(昭和22)6月19日	晴。中山散歩。電車停留場にて人々の雑談するをきくに	物価の記録
	1948年(昭和23)4月7日	晴。いよいよ暑し。(中略)この頃の物価	物価の記録
8月17日～8月30日	1918年(大正7)1月2日	暁方雨ふりしと覚しく、起出で戸を開くに、	父の墓参り
	1920年(大正9)11月13日	飯倉通にてセキセイ鸚哥を購ふ。	物価と賃金
	1926年(大正15)9月26日	曇りて風なく静なる秋の日となりぬ。	秋海棠(断腸花)を植える
	1941年(昭和16)11月5日	晴。正午芝口に飯して品川に往く。	服部南郭の墓参り
	1946年(昭和21)8月16日	晴、残暑甚し、夜初更屋内のラヂオに追出されしが	ラヂオの音を避けるため市川駅待合室へ
	1947年(昭和22)3月6日	晴。暖。午後凌霜子来話。	新円封鎖を危惧して物品購入

1945年(昭和20)3月9日の日記については、複製を通期で展示しております。
8月17日以降は、1959年(昭和34)4月29日(最後の日記)も複製で展示いたします。

展示期間	日記	本文(一部)	内容
8月31日～9月21日	1928年(昭和3)2月5日	雪もよひの空なり、日高氏の書を得たれば直に返書をしたゝめて	関根歌に抱く想い
	1927年(昭和2)10月21日	晴れて暖なり、午後家に帰る、	壺中庵記
	1944年(昭和19)8月7日	晴雨定りなし。	現代女子について
	1932年(昭和7)1月22日	快晴、暖気春の如し、午後中洲に往く	玉の井散策
	1936年(昭和11)5月16日	曇りて風甚冷なり。	玉の井見物の記
	1951年(昭和26)1月、2月	—	浅草通い
9月22日～10月14日	1924年(大正13)9月25日	陰晴定りなし。	句会への出席
	1928年(昭和3)2月6日	<俳句>雪の夜やふけてひそかに竹の月	眠れぬ夜に
	1936年(昭和11)10月4日	<俳句>引汐や夜寒の河岸の月あかり	月見の楽しみ
	1940年(昭和15)12月22日	世上の噂をきくに、発句をつくるものども寄り合ひて	俳句の妙味とは
	1941年(昭和16)11月5日	<俳句>木犀や額仰ぎ見る寺の門	東海寺即興
	1946年(昭和21)4月22日	<短歌>一人住む菅野の里は松多し君もきて聞け風のしらべを	菅野の里は松多し
	1946年(昭和21)5月10日	<俳句>日は長し盛の花も牡丹かな	百花爛漫